

とんがらし通信

夢のようなひととき…

お家に帰ったら zzz…



 No. 264 

～主な内容～

- ・施設長コラム 内部研修（花笠ほーぷ隊）
- ・活動紹介（御朱印 コンサート ほか）
- ・研修報告
- ・Close-up！
- ・職員コラム ほか

仙台つどいの家編集室
発行責任者 山口 収
発行日 2023年7月25日
〒983-0836 仙台市宮城野区幸町3丁目12-16
Tel 022(293)3751 Fax 022(293)3752
E-mail sendai@tsudoinoie.or.jp
ホームページ <http://www.tsudoinoie.or.jp>



.....
子に課せられた役割は… の巻

『わたくし事』ですが…。毎年この時期になるとゆううつになります。例の定期健康診断の結果票が送られてくるのですねえ…。昨年・一昨年は奇跡的に(?)指摘項目ナシの優等生!今年
 は血圧と肝機能がやや高めに出て、80点くらいといったところでしょうか。。無理もない。そ
 ういうお年頃ですからねえ。まあ、がんばってるほうだとは思いますが～。

お年頃と言え。私と同じような年代の利用者さんたちが、今年度に入ってからちょっと元
 気がないので心配していました。これまでそんなにお休みしたことのない方たちが、原因の分
 からない体調不良で半月以上も欠席したり、肺炎や胆管結石で入院したり。。コロナやイン
 フルは陰性なのになんとも原因がはっきりしない風邪様症状で、職員たちも含めて今年の春
 は体調不良者が続出なのでした。。。

さてさて、『わたくし事』ですが。先日、東京で行われた福祉協会の全国施設長会議のついで
 に、4年ぶりに実家に帰省してみました。5年前に父を亡くしてからますます元気に一人暮ら
 しをエンジョイしていた母が、5月に腰椎を圧迫骨折したというので、今さら感はあるがもち
 っと様子を見に行ってみたのです。4年ぶりに会ってみると思いのほかケロツとはしていま
 したが、やはり4年分しっかりと齢をとっていました。運転歴60年の母ですが、医師からドク
 ターストップを言い渡されているため、定期的な通院は車で1時間ほどのところに住む姉が
 お店を休んで連れて行ってくれているようです。日常の買い物は生協の個人宅配を始めた
 とのことでした。腰から背中にかけてコルセットをしていて屈んだりしゃがんだりができ
 ないため、リビングのソファが片付けられ、椅子とキャスター付きのテーブルに置き換
 えられていました。翌日には要介護認定の訪問調査員さんが家に来ることになってい
 るとのことでした。。。

背が届かないというので換気扇のフィルターを取り換えて、生協の宅配では扱って
 いないものを買ってホームセンターへ連れ出し、久しぶりに昼食を共にし、庭の草を
 むしって…。わずか4時間ほどの滞在でしたが、数年前よりも確実に年老いた母を
 目の当たりにして、いろいろと考えさせられたものでした。。。

子どもが『お年頃』になるということは、親もそれに比例して年老いていくこと
 ですね。当然、身体面や認知面の衰えも少しずつ見られてくるようになるわけ
 です。そして順番からすると、弱っていく親を子どもが見送らなければなら
 ない時がやがて来ます。それが自然の摂理です。子どもの側からしてみれば
 年老いていく親を見るのは何とも複雑な思いですが、それをきちんと
 受け止めて見送る。それが子に課せられた役割なのだと思います。そして、
 それはしょうがいの有無にかかわらず、一人ひとりに与えられた役割
 なのではないでしょうか。

仙台つどいの家の利用者さんたちも半数が40代～60代になりました。いわゆるこ
 こで言う『お年頃』の世代に差し掛かっている方たちです。親御さんたちも
 当然、それなりの年代になっているわけです。今、親御さんたちは必死に『
 親亡きあと』を考えています。自身の亡きあとに、この子が幸せに生
 きていける方法を模索しています。私たちはそんな親御さんとともに、
 利用者さんたちのこの先の生活・人生について真剣に考えていかなく
 てはならないと思います。と同時に、利用者さんとともに『親に
 対する子のもつべき役割』についても考えていかなくてはならない
 のではないでしょうか。『子を思う親の気持ち』と同じく、『親を
 思う子の気持ち』にしょうがいの有無や軽重は関係ないと思
 うのです。

…それにしても今回は『わたくし事』の多いコラムだったなあ…。失礼いたしました～!

(管理者 山口 収)

内部研修

花笠ほーぷ隊

疑似体験 出前講座



マスコットキャラクター
『ほーぷちゃん』



6月7日午後、「仙台つどいの家 内部研修」で、山形県天童市で活動をしている、「知的・発達障がい 理解啓発キャラバン隊」【花笠ほーぷ隊】の方々にいらしていただき、『知的・発達障がい 疑似体験 出前講座』を行いました。花笠ほーぷ隊の皆さんは、知的障がいや発達障

がいに理解のある人たちが地域にたくさん増えてくれることを願い、個性豊かな行動や感覚を持った障がいのある人たちを、楽しくて分かりやすい「疑似体験」を通して知ってもらい、彼ら（障がいのある人）のよきサポーター（理解者）となってもらえるような活動（出前講座）を山形県内外各地で精力的に行っています。メンバーは障がいのある方の親、相談支援事業所職員、特別支援学校教員、市役所職員、消防署職員、一般市民など様々な業種の方で構成されています。

今回の出前講座では、「できない」とはどう感じるのか、軍手2枚重ねて着けて紙花を開く体験」「伝わらない」「分からない」とはどんな感じか、あいまいな表現を各自が絵で表したり、たくさんの情報の中から必要な情報を記憶する難しさを体験」など、知的・発達障がいのある人の行動や特徴を疑似体験することで実際に感じて理解する内容でした。紙花を折る体験では、参加者はなかなか紙が掴めずに四苦八苦して全く花にならなかったり、二人一組で行ったあいまいな表現を伝えて書く体験では、相手に伝わらず全く違ったものを書いたり、疑似体験することで障がいのある人の気持ち（もどかしさ）を感じ学ぶことが出来ました。花笠ほーぷ隊の講師の方は、『100人いれば、100通りの障がい特性がある』とお話していました。今回の疑似体験で改めて感じた「相手の気持ちになって」ということを、今後の支援に活かしていきたいと思います。また、私が特に印象に残ったことは、講座の内容もそうですが、障がいのあるお子さんを持つ講師の方の実体験を交えた、明るく元気な、ユーモアあるお話しにとっても魅力を感じました。

（記：佐藤和）

<参加者の感想>

・地域では「一人の医者より、多数の理解者」という言葉にとっても納得しました。 ・利用者がこんな思いなんだと理解することが出来た。 ・一人ひとりの表し方、感じ方は違うと思うので、理解しようとする姿勢が大事だと思った。 ・普段の支援の中で「ちょっと待って」「後でね」と言ってしまう、利用者を困らせているなど感じた。 ・疑似体験で音に対するの感じ方がとても参考になった。 ・とても分かりやすいお話しで理解しやすかった。 ・普段気が付かないことを気付く機会を得られた。 ・抽象的なことではなく、具体的に本人が分かりやすい表現で伝えていきたいと感じた。 ・とても分かりやすい体験だったので、子供の頃からこういう機会を持ち大人になって欲しいと思う。



軍手2枚重ね
『できない体験』



『伝わらない
分からない体験』

御朱印集め

年度末に、大村明日美さんから「来年は御朱印あつめしたいな」とお話しがありました。そろそろコロナも少なくなってきたし、やるか！！と支援計画とともに進めることになりました。4月にはかわいい御朱印帳を選んで、5月6月と3か所の神社を周りました。神社によって1面を使



って書くところや大きく2面使うなど、いろいろな御朱印を手に入れた明日美さん「帰ったらみんなに見せるんだ！」と満面の笑みでお話してくれます。つどいに戻ると走ってまずは管理者に、次にグループメンバーに、帰ってグループホームのみんなに……。御朱印を介して沢山の方との関りを深めていく明日美さん。ご利益とともに明日美さんの周りで沢山の笑顔に出会えることに私も幸せを感じています。階段が沢山あってたどり着くまで大変な場所もありますが、そのあとの時間が明日美さんにとって一番大切な時間なのかもしれません。そして御朱印巡りが明日美さんの中でモチベーションになり、日々のパン工房での仕事も頑張ってくれています。さて次はどこに行きましょうか！まだまだ明日美さんの御朱印巡りは続きます。(高橋)



SMG コンサート

今年度最初のコンサートは SMG さんをお招きし、7月4日に開催されました。「SMG」は、『S(仙台)M(ママ)G(ゴスペル)』と『S(仙台の)M(ママ)G(頑張る)』という2つの意味が込められているそうです。とても素敵な由来ですね♪以前もつどいの家のコンサートに来ていただいたこともあり、今回は久しぶりのゴスペルを聴けるということで、利用者さんも職員もとても楽しみに、当日を心待ちにしていまし



た。「Oh Happy Day」や「Dancing Queen」「I Will Follow Him」等、馴染みのある曲を披露していただき、リズムに合わせてクラップ(手拍子)したり、一緒に歌ってみたり、会場全体が一体感に包まれました。職員も自然と体が動き、気づけば利用者さんと一緒に踊りだす職員も(*^-*)自然と心で感じ、不思議と体が動き出す「ゴスペル」。

改めて『音楽の力』というのは偉大ななあと痛感しました。コロナ禍で思うような活動が出来なかったり、様々な思いを抱え生活することもありましたが、コンサートを通しみんなが笑顔で楽しい時間を共有し、一人一人が元気や勇気をもらえたと思います。素敵な歌声を届けて頂いた SMGさん、本当に有難うございました。また、お待ちしております！(小沢)



にこいほっと

仙台つどいの家では、日常の中で思わずにっこり&ほっとする「にこりほっと」なエピソードを打ち合わせなどで報告し、共有しています。今回はその中からエピソードをひとつ紹介します。

今年度通所を開始したもみじグループの反怖美月さんは、同じグループの落合道代さんのことが大好きでいつも近くに座っています。道代さんが休みの日は、玄関で『早く来ないのかなぁ』と待っていたり、写真をじっと見つめたりしています。

ある日美月さんとスーパーへ買い物に行くと、突然クルッと向きを変え、自分で車いすを操作して店内を進み始めました。どこへ行くのだろうと後ろから見守っていると、たどり着いたのはコーヒー売り場でした。普段コーヒーは飲まない美月さん。もしかして…と思い、「道代さんにコーヒーを買って行きますか？」と聞くと、「はい！」と手を挙げました。実は出かける前に「コーヒーが飲みたい」と道代さんが話していたのですが、それをしっかりと聞いていたようでした。帰ってくると、缶コーヒーを片手にまっすぐ道代さんのもとへ進み、笑顔で手渡します。

「美月さん、ありがとう」と道代さんに言われ、照れ笑いを浮かべる美月さん。二人の関係性に思わずにっこりしてしまうエピソードでした。今度はぜひ一緒にカフェ外出に行きましょうね！（記：淡路）



ドリームナイト・アット・ザ・ズー

6月3日の土曜日、一般の入場が終わった15:30から、『ドリームナイト・アット・ザ・ズー』にご招待いただき、ゆっくりと動物園を堪能してきました。

夕方の時間、涼しくなってきたからなのか、お食事の時間が近いのか、いつものんびりしている動物たちがイキイキと動き回っている姿を見て、参加した3人も笑顔いっぱい楽しんで見られる様子が見られました。



美空さんは、フラミンゴがお気に入りです。素敵な笑顔と、手を何度も上げて楽しさをアピール。夏海さんは、いろんな動物を見てキラキラの笑顔だったのですが、特にペンギンを見たときは体をくねらせて、『キャハッキャハッ』声を出して笑っていました。ゆかりさんは、夏海さん・美空さんに、動物の様子を話してくれたり、近くに来た動物にびっくりしながらいつも以上の満面の笑顔が見られました。今度は夜の動物園も行ってみたいね〜。（記：佐藤智）



研修報告：社会福祉法人武蔵野

つどいの家と古くから交流のある、東京都武蔵野市の「社会福祉法人武蔵野」で2泊3日実習させていただきました。武蔵野市の2～3km圏内で複数の事業が展開されていて、主婦やサラリーマンで賑わうレストランやパン屋さんをはじめ、メンバーさんが自由に表現したTシャツやだるまの販売や、近隣の大学・商店街との交流も続けていて、地域にとってなくてはならない存在だと思いました。Tシャツがとってもいいデザインなんです。吉祥寺の街に売っているとか・・・？

主に「デイセンター山びこ」という自閉症や知的にしょうがいのある方が通所する事業所で活動に参加させていただきました。初日にメンバーさんと近隣の公園へ外出した際、とても穏やかなご様子でお散歩を楽しまれていましたが、降所前になるにつれて「お母さんは？」と送迎に来る保護者さんのことが気になり落ち着かなくなってしまう、支援員に掴みかかってしまうことがありました。そこで支援員が粘り強く向き合い、ご本人さんがどうして困っているかを一つ一つ丁寧に紐解いていくことにより、徐々にご本人さんに穏やかな表情が戻り、他害以外の表現で想いを伝えてくれるようになりました。

この一連のやり取りを見てご本人が「この人と一緒に居たい」と思えるような関係性になることが大事だと思いました。やり取りの中で特別な支援はしていないし、もしかしたら福祉事業所ではありふれた一コマなのかもしれません。しかし、ただ他害の行為を制止するだけでなく、ご本人に向き合い続けていくことによって、お互いのことを知っていくからこそ通じ合えるのだと思いました。

つどいの家に戻ってもご本人と向き合う気持ち、知りたい気持ちを忘れずに支援していきたいと思います。(記：松原)

権利擁護内部研修

6月19日に第2回仙台つどいの家権利擁護委員会を行いました！

山口県下関市と北海道西興部村で起きた虐待の告発映像・報道映像を見ての率直な感想と虐待が起こった原因、日ごろの自分たちの支援について振り返り、話し合いをしました。ショッキングな映像でしたが、日々の支援でも起こりうるものだとして一人ひとりが自覚して利用者さんと接するべき、人として尊重することを何よりも基本にしなければいけないといった意見が出ました。その他にも、『事業所が地域に1箇所しかない』ことで比べる対象がないことや、利用する側も選ぶことが出来ない、施設としての質を保つことが難しいなどの声も上がりました。

利用者さんも人だけど、職員も人。自分の心の持ちようによってはグレーな支援にもなることがあるかもしれない。自分の状況を知り、気持ちを自覚することで余裕を作り、良い支援を利用者さんに提供することが出来るし、利用者さんと職員の双方が気持ちよく過ごせるのかなと思いました。(記：二階堂)



Close-up!

あべもとなり 阿部元就さん



～風のように駆け抜ける元就さん～

みなさんこんにちは！仙台つどいの家に通う利用者さんの魅力に迫る CLOSE UP の時間がやってきました！！今回はくるみグループの阿部元就さん編です！つどいに通い始めて9年目。クールでキリッとした表情が人気の元就さんの魅力に迫っていきたいと思います！

つどいの家では「スヌーズレン」という光や音でリラックスして過ごせるようなお部屋で過ごしていることが多いです。お散歩が大好きで「歩こう運動」の時間ではグループでも先陣を切って歩いています。つどいの家から利府街道をずっと真っすぐ歩き続け、一日に20km以上歩いたこともありました。アスリートのような体力ですね・・・。



しかし、お散歩中の楽しみは歩くだけではなく時には立ち止まって周りの景色を眺めることもあります。ちょっとした高台から与兵衛沼の風景を眺めたり、先日仙台港の公園に行った時も堤防から浜風を浴びながらじっと海を眺めりと色んなことを感じ取りながら歩いています。

皆さん、猛スピードで幸町の街を風のように駆け抜けるくるみグループの阿部元就さんをよろしく願います！（記：松原）

職員コラム

しょうじみかこ 庄子美佳子さん

4月末より、新しくけやきグループのチーフとして配属されました庄子美佳子です。出身は仙台で、生まれも育ちも仙台の生粋の仙台人です。とってもおしゃべりな3歳の娘と2人暮らしで、ドタバタで楽しい毎日を送っています！

お酒を飲むことが大好きで、お風呂上りの一杯を楽しみに頑張る毎日だったのですが、娘が生まれてからは「夜中に熱を出したらどうしよう…」「何かあったらどうしよう…」と心配事が尽きず、今は特に頑張った週の週末にちょっぴり嗜む程度になりました(笑)

お酒の楽しみは減りましたが、娘の成長とともに娘と一緒に楽しめることも増えてきました。特に最近楽しいなと思うことは、私の推しのライブ映像を観ながら娘と一緒に盛り上がること！おしゃべりな娘は、曲を数回聞くと覚えてしまう天才で（親バカです笑）、一緒に歌ったり踊ったりして楽しんでいます。最初は私の趣味に付き合ってくれていた娘ですが、最近は「私はこの人が好きなの♡」と娘自身も推しを見つけたようです(笑)

仕事と子育ての両立はすごく難しく、時々頭を抱えてしまうこともありますが、娘との楽しい時間を活力に変えて、利用者の皆さんとの活動も楽しいものにできるように頑張ってお参りしますので、皆様どうぞよろしくお願いいたします！

スケジュール schedule

ご協力ありがとうございます ボランティアとして協力して頂いた皆様

(令和5年6月19日～7月18日まで)

平さん、吉田さん、

見学・来訪者など

鶴谷特別支援学校、小松島支援学校、仙台SMG、フラッツ102、栴江町内会今野さん、なのはな会：高橋さん、ソエルさん、ピーススマイル石道さん、音楽療法：向井田先生・山崎先生、生け花：濱谷先生、ハンズ仙台、ピーススマイル、ヤクルト、アグリ仙台、ほまれフーズ、マルイ、マルキ水産、サトー商会、ダスキン、東北食材、日本テクノ、ホシザキ

法人職員：飯田、小原、片桐、森、佐藤（吉）、阿部、小野、佐藤（愛）、福地、加藤、佐々木、大累、加藤、村上、小林、半沢、佐藤（靖）、三浦（郁）、山口、菅原、菊地、岩槻、上野、高杉、清水、坂本、押切
ほか多数

(以上、ご芳名順不同)

令和5年 8月

- 5日（土）夏まつり
- 7日（月）医ケア安全委員会
- 8日（火）個別支援計画策定検討会
- 9日（水）OTPT 連絡会・職員研修委員会
- 10日（木）フードドライブ
音楽療法① 生け花①
- 15日（火）防災ネットワーク訓練
- 17日（木）仙つ権利擁護委員会
- 18日（金）職員会議
- 21日（月）施設懇談会
- 22日（火）ケース会議 13:30 降所
- 24日（木）音楽療法② 生け花②
- 25日（金）法人防災委員会
- 31日（木）メンタルヘルス研修

令和5年 9月

- 4日（月）医ケア安全委員会
- 5日（火）ケース会議 13:30 降所
- 6日（水）はたちを祝う会
- 8日（金）看護師連絡会・フードドライブ
- 11日（月）イエローレシート
- 14日（木）音楽療法① 生け花①
- 15日（金）防災ネットワーク訓練
- 18日（月）祝日開館
- 19日（火）施設懇談会
- 20日（水）防災訓練
- 21日（木）音楽療法②
- 26日（火）ケース会議 13:30 降所
- 28日（木）コンサート②・生け花②
- 29日（金）幸町地域懇談会



缶回収

4月分の納品額

合計 4,650 円でした。

ご協力ありがとうございました。



編集後記

暑さ寒さ、雨や低気圧。季節や天気によって左右されがちな私の気分。なるべく、外の環境に影響されないよう、自分の身のまわりの環境を整備しようと、いろいろ試行錯誤中です。調理器具や食器を自分好みの素敵なもので集めたり、オーディオやワイン、コーヒーをかなり勉強して、一人の時間を楽しんでいます。皆さんの、「ひとりの時間」おすすりめがあったら教えてください。

(智昭)